

1 県内施設における夜間休日微生物検査  
2 の現状

3  
4 ○宮部安規子（千葉大学医学部附属病院） 里村秀行  
5 （千葉県がんセンター） 伊東高広（千葉社会保険病  
6 院） 石川恵子（浦安市川市民病院） 中沢武司（順  
7 天堂大学浦安病院） 高橋弘志（君津中央病院）

8  
9 **【目的】**平成 20 年度診療報酬改定により、夜間休日  
10 において微生物検査を実施できる体制を整備する必  
11 要性が高まっている。千臨技微生物検査研究班では  
12 平成 19 年度より千臨技精度管理の際に夜間休日の  
13 微生物検査に関するアンケートを実施しており、そ  
14 の集計結果から現在の県内施設における夜間休日検  
15 査への取り組みについて述べる。

16 **【対象・方法】**アンケートに回答を得た施設（平成  
17 19 年度 37 施設、平成 20 年度 39 施設）を対象とし  
18 た。アンケート①夜間休日にグラム染色を至急で実  
19 施する体制ができていますか。可の場合誰が行いま  
20 すか。②迅速検査としてグラム染色以外に実施して  
21 いる項目はありますか。の 2 項目について実施した。

22 **【結果】**①グラム染色を実施している施設は 20 施設、  
23 していない施設は 17 施設であった。実施者は当直技  
24 師 12 施設、細菌検査技師 8 施設、医師 6 施設（複数  
25 回答あり）であった。②迅速検査は尿中肺炎球菌抗  
26 原 18 施設、尿中レジオネラ抗原 19 施設、髄液肺炎  
27 球菌抗原 15 施設、髄液インフルエンザ菌抗原 15 施  
28 設、咽頭 A 群溶血連鎖球菌抗原 28 施設（複数回答あ  
29 り）であった。**【考察】**夜間休日では県内の約半数の  
30 施設がグラム染色を実施していたが、細菌検査技師  
31 以外の技師や医師が実施する場合が多く染色法のト  
32 レーニングやマニュアルの整備などは必須である。  
33 グラム染色は毎日実施している者でも判定に苦慮す  
34 る場合があり、十分なフォローアップ体制が必要で  
35 であろう。一方、迅速抗原検査はキット化され、多く  
36 が免疫クロマト法のため操作も簡便で、目視で容易  
37 に結果を判定できるためグラム染色に比べ導入しや  
38 すい検査であるといえる。平成 20 年度分は現在集計  
39 中であり、当日報告する。 043-222-7171(6211)